



地元食材の提供・活用

6次産業化

学生・若者の活躍

— 地域の縁を繋ぐ「太宰府梅サイダー」 —

観光列車旅人での販売



梅園での収穫作業



太宰府梅サイダー



概要

- 地元特産物の「太宰府の梅」を活用し、地域のブランド化を強化するため、行政・企業と連携し「太宰府梅サイダー」を開発。
- 福岡農業高校の生徒が梅の収穫から梅シロップの加工・製造を実施

成果

- 太宰府天満宮の参道店舗や、観光列車でも販売される等、太宰府市の新たな名産品として、地域の観光振興や活性化に貢献。
- 梅園維持・環境整備に貢献するため、売上の一部を太宰府市へ寄付し、地域ブランド向上を目指した地域循環型プロジェクトに貢献。
- JAと連携し、新規就農の創出や所得向上に向けた取組へと発展。